

農業功労者として2名受賞

4月21日(木) ベルファイン橋場において、平成27年度 第44回諏訪地区農業委員会協議会長表彰式が行われ、農業功労者として、新田の和田登志夫さんと富士見高等学校農業クラブが表彰されました。

和田登志夫さんは、富士見町農協を退職後、カーネーションを栽培する花き農家として就農され、34年間、カーネーション栽培と米の生産で農業に従事し、専業農家として地域に貢献されてきました。安定的に出荷できるよう、日頃から工夫をされ、各種賞を受賞されるなど、技術力も高く評価されています。地区の役員なども歴任され、地域のリーダーとして人望も厚く、地域農業者の模範となった功績を讃えられました。



▲和田登志夫さん

富士見高等学校農業クラブは、1952年に発足されてから60年以上、地元の農業高校として地域住民とともに農業の発展に寄与されてきました。クラブには4つの研究部があり、地域住民との交流活動に取り組んでいます。環境科学部は諏訪湖の水質・環境改善を目的に研究、バイテク部は釜無ホテイアツモリソウの保護・育成についての研究、グリーンデザイン部は文化祭でのブーケ体験などを行い、養蜂部は二ホンミツバチを通じて、町内の蜜源や自然環境の特性を調査しています。また、アンテナショップをオープンし、農産物や加工品の販売、特産野菜を活用したルバーブカレーの商品化を行うなど、地域活性化に貢献した功績を讃えられました。



▲富士見高等学校農業クラブ

受賞された方々には、今後も富士見町の農業発展のためご指導、ご協力をお願いします。

姉妹町 西伊豆だより

かも風鈴デザインコンテストに 応募しませんか？

4月29日から8月31日まで黄金崎クリスタルパークで、「第12回かも風鈴デザインコンテスト」の募集を行っています。風鈴のデザインを募集するこのコンテストでは、毎年ユニークなデザインが寄せられています。

審査で選ばれた作品の中から翌年にオリジナル風鈴が制作され、応募者にプレゼントされるほか、コンテストの入賞作品の中から翌年に一般販売される「かも風鈴」が誕生します。

昨年は全国から890点のデザインの応募があり、審査で選ばれた入賞作品22点のオリジナル風鈴が今年5月下旬からお披露目されます。また、ガラス作家により一つひとつ手作りした新作「かも風鈴」が黄金崎クリスタルパークで販売されます。過去には、「潮の記憶」「水面に映る金魚」といった作品がかも風鈴としてデビューしています。

あなたの考案したデザインがかも風鈴になるかもしれません！皆さんもぜひご応募ください。

問合せ：黄金崎クリスタルパーク

☎0558-55-1515

URL：<http://www.kuripa.co.jp>



富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。